

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



環境にやさしいエコ型肥料



- ブドウ栽培においても**環境にやさしい栽培技術**が求められています。施肥では**化学肥料施用量の低減**と**家畜ふん堆肥の施用量拡大**です。
- しかし、家畜ふんには多量の**カリ**や**リン酸**が含まれ、過剰供給による障害発生が心配されます。
- 特にカリが多くなりすぎた園では、長期間をかけてカリの減肥をするしかありませんでした。
- このような状況を解決するために県下の多くのJAでは**エコ型の肥料**を販売しています(図)。
- この肥料の特徴は、
 - 1 カリ含量が低く、過剰蓄積の心配がない。
 - 2 魚カス等の**分解の良い有機物**を多く含み、化学肥料の含有量が低い。
 - 3 分量を抑制するため**肥料費が軽減**される。
- 果樹園の状況や品種に応じて複数の銘柄があり、多くのブドウ栽培農家に安定利用されています。



図 ブドウ用エコ肥料(JAフルーツ山梨)



PCR法とはどのような方法？



- 遺伝子上の塩基配列がわかれば**ウイルス検査**や**品種鑑定**が可能となります。しかし、遺伝子を取り出しただけでは微量すぎて検出は不可能です。
- そこで、特殊な装置を用いて調査対象の遺伝子に特有のDNAの断片(**プライマー**)を加えて対になるDNAを**複製**します(図)。
- 複製を繰り返すとやがて数億倍に増加します。
- この時、複製したDNAに目印をつけると調査対象の有無を**即時に判断**出来ます。
- 以上の様に、PCR法とは特定のDNAを人工的な方法で増幅して**高精度**でウイルス検査や品種鑑定を行なう方法です。

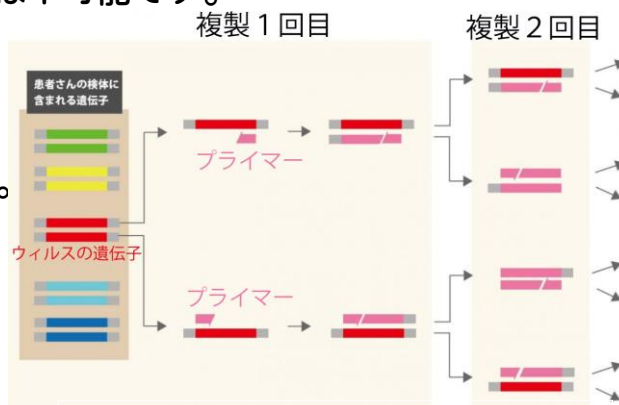


図 PCR法の原理(阪大微生物研 HP)